

生前の思い 正確に

人生の最期に備えたエンディングノートの代わりに、家族への伝言をまとめたDVDを制作するサービスを徳島市内の個人事務所が始めた。文章よりも話す方が思いを伝えやすいという人は少なくない。名付けて「エンディングDVD」。伝言以外に、生前の姿やさまざまな映像、写真、記録やメッセージなどをまとめれば自分史にもなるとPRしている。

エンディングDVD



サービスを始めたのは像成企画事務所(徳島市二軒屋町)。一般的にエンディングノートには葬儀の形式や納骨場所、財産遺言書の保管場所などを書き込む。延命治療の希望や、財産管理者を誰にするのかといったことを記す場合もある。「自分が死んだ後、家族が困らないように」との気持ちから残されたエンディングノート。ところが、書いた文字や文章の意味が

徳島市の業者 写真・動画盛り込み制作

エンディングDVD制作している小川えん

正確に遺族に伝わらなかつたり、意味を理解するのに、かなり時間がかかっていたりすることがあるという。経営者の小川佳晃さん(55)は、徳島出版で28年間、自分史、写真集などの取材と編集に携わった。2011年の自主廃業後、事務所を設立。自費出版などを手掛けているうちに、「映像を活用すれば、家族への伝言や、その人の歩みをもっと分かりやすく伝えることができる」と思うようになった。先ず祭りのほかは制作する前に依頼者を取り、家族への伝言や中身を決める。カメラやビデオが必要なものを撮影し、場面に合ったインタビューなども行う。編集後、DVDとして仕上げ、写真や動画には説明文も字幕で入れる。事務所は昨年、2枚を制作。ある男性のDVDには、男性自身が撮影した動画を収録。テレビ番組に投稿して採用された思い出の作品や地域の祭り、家族で行った野菜や果物の収穫の様子などが収められている。男性の写真も活用し、赤ちゃんの日や徳島駅伝で力走する姿、結婚式、趣味の海釣りなどで仲間の大物のイシダイ、仕事の成果を取上げた新聞記事を写したものを盛り込んだ。

さらに、子どもたちに対して「美しい農村風景を残してほしい」と、先ず祭りのほかは制作する前に依頼者を取り、家族への伝言や中身を決める。カメラやビデオが必要なものを撮影し、場面に合ったインタビューなども行う。編集後、DVDとして仕上げ、写真や動画には説明文も字幕で入れる。事務所は昨年、2枚を制作。ある男性のDVDには、男性自身が撮影した動画を収録。テレビ番組に投稿して採用された思い出の作品や地域の祭り、家族で行った野菜や果物の収穫の様子などが収められている。男性の写真も活用し、赤ちゃんの日や徳島駅伝で力走する姿、結婚式、趣味の海釣りなどで仲間の大物のイシダイ、仕事の成果を取上げた新聞記事を写したものを盛り込んだ。

像成企画事務所(電話088-860000)(0905-7489)。 (原野登大)